

2025 年 9 月 27 日作成 Ver.3.0

《情報公開文書》

胃癌患者における術前栄養、免疫評価の
妥当性の検討

研究の概要

【背景】

胃がんは、日本では今でもかかる人や亡くなる人が多い病気の一つです。手術によってがんを取りのぞくことが、根本的な治療としてとても大切な方法とされています。しかし、患者さんの年齢が高くなっていたり、ほかの病気を持っていたり、体の栄養状態が悪かったりすると、手術のあとに合併症（たとえば傷の治りが遅い、感染症にかかる、入院が長引くなど）が起こりやすくなります。このような問題は、患者さんの体の回復に時間がかかるだけでなく、医療費の負担も増えてしまいます。

最近では、手術の前に「体の栄養状態」や「免疫力（病気とたたかう力）」などをチェックすることで、手術後の回復や長期的な経過を予測できるのではないかと注目されています。たとえば、「PNI（予後栄養指数）」や「NLR（血液の中の成分の比率）」などは、普段の血液検査から簡単に計算できるもので、特別な検査を必要としません。

ただし、どのくらいの数値なら注意が必要かといった基準は、患者さんの体の状態や病院ごとに少しずつ違ってくる可能性があります。そのため、こうした数値が本当に役に立つかどうかを、私たちの病院でもきちんと調べるのが大切だと考えています。

【目的】

この研究では、当院で胃がんの手術を受けた患者さんを対象に、手術の前に調べた「栄養状態」や「体の免疫力（病気に対する強さ）」と、手術後の経過や長期的な体の状態との関係を調べます。

たとえば、「PNI」や「NLR」、「CONUT」といった数値は、血液検査などの結果から計算できるもので、体の栄養や炎症の状態を示します。

【意義】

この研究を通じて、手術前の検査結果から、手術後にどのようなリスクがあるのかを事前に予測できるようになれば、一人ひとりの状態に合わせた治療やサポートを行うことができます。これにより、手術後の回復をよりよくしたり、入院期間を短くしたりできることが期待されます。また、医療の質を高め、無理なく効率的な治療につなげることにも役立つと考えています。

【方法】

この研究はあなたの診療経過（治療内容や検査結果等）を使用させていただくもので、この研究のために追加で行う検査等はありません。

この研究で用いる情報については、下記の『研究に用いる情報』で説明します。

対象となる患者さん	
2016 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの間に、長崎大学病院の胃・食道外科で「胃がん」と診断され、治すことを目的とした手術（根治手術）を受けた方で 20 歳以上の方	
研究に用いる情報	
●研究に用いる情報 下記の情報を診療録より収集します。 1, 患者背景：性別、併存疾患、身長 2, 体重 3, 臨床検査 4, 手術に関わる因子 5, 病気に関わる因子 6, 栄養、免疫にかかわる指標：計算式に基づき算出 本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。	
情報の利用開始予定日	
本研究は 2025 年 10 月 2 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。 あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2030 年 12 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 胃食道外科 氏名：荒井 淳一 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7304
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 胃食道外科 荒井淳一 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号	

電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間 ：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）